

2021/1/22 (金)
インターネット世界旅行

ドイツ (その4)

南部地方
ミュンヘン、マイナウ島、バンベルグ

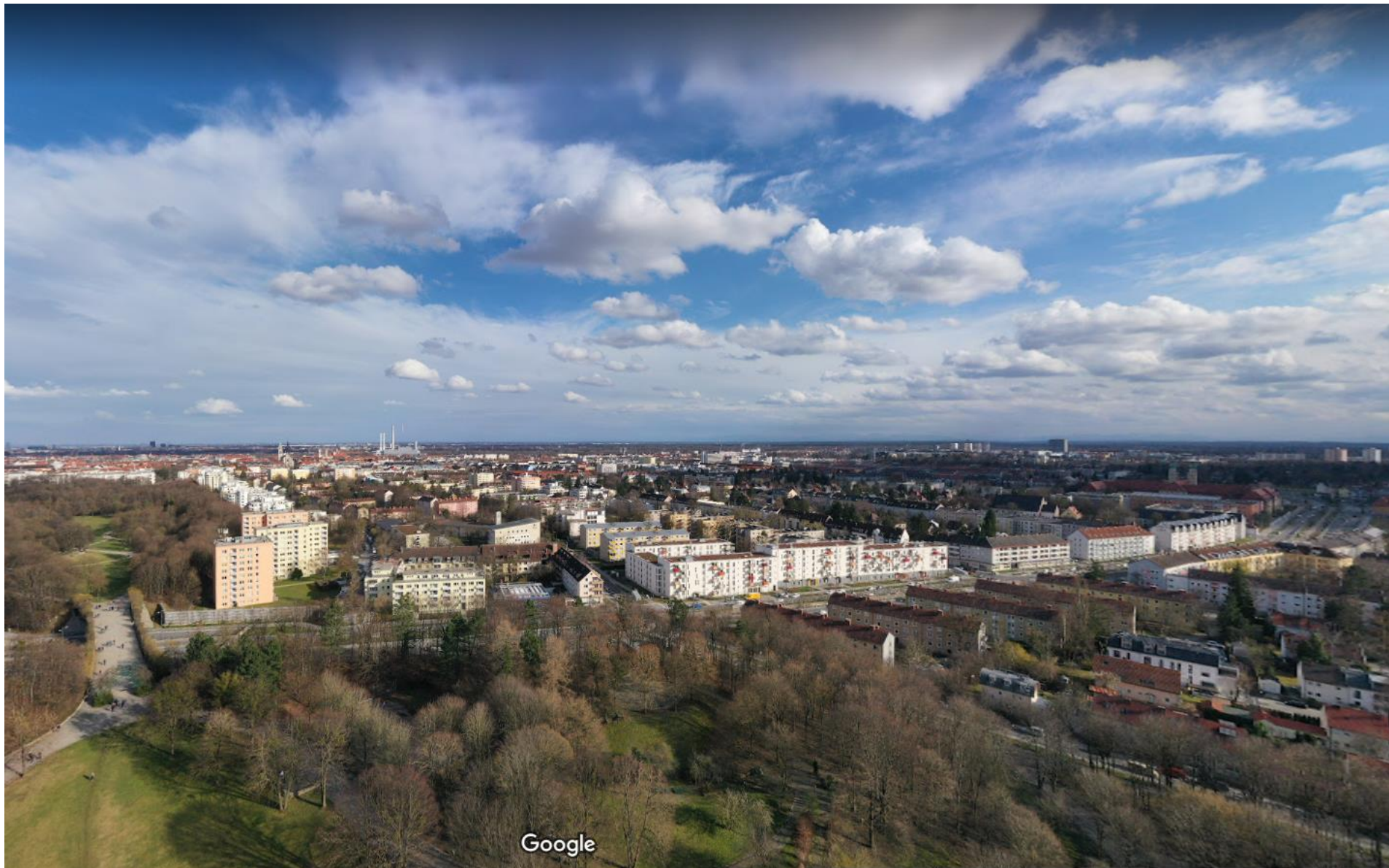
この資料は、インターネット上の情報をもとに
製作しています。

吉岡 芳夫

目次（ミュンヘン）

- 1. マリエン広場
- 2. 新市庁舎
- 3. レジデンツ
- 4. ニンフェルンブルク城
- 5. ミュンヘン大聖堂
- 6. バイエルン国立歌劇場
- 7. BMW博物館
- 8. ヴィクトアリエンマルクト
- 9. ヴァイセス・ブロイハウス
- 10. ホフブロイハウス

[ヴェストパーク・ミュンヘン - Google マップ](#)



マリエン広場 - Google マップ





ミュンヘンの中心部にある「マリエン広場」はミュンヘンの顔となっている広場で、観光の中心になる場所です。新旧市庁舎が周りに建ち、中心部ではクリスマスマーケットをはじめとして様々なマーケット（市場）やイベントが開催されています。

新市庁舎には、ドイツ最大の仕掛け時計があり、毎日**11時と12時**になると動き出します。段ごとにヴィルヘルム5世の結婚式、王様の前での騎士の馬上槍試合、謝肉祭の踊りなどを表現しており、約**10分**間にわたって人形たちが音楽と共に動き出します。

そして、驚くことに踊っている人形は、すべて人間の等身大の大きさ！新市庁舎は**1867年**から**1909年**に建てられたとされていますが、当時の技術の成功さがこの仕掛け時計からうかがえます。

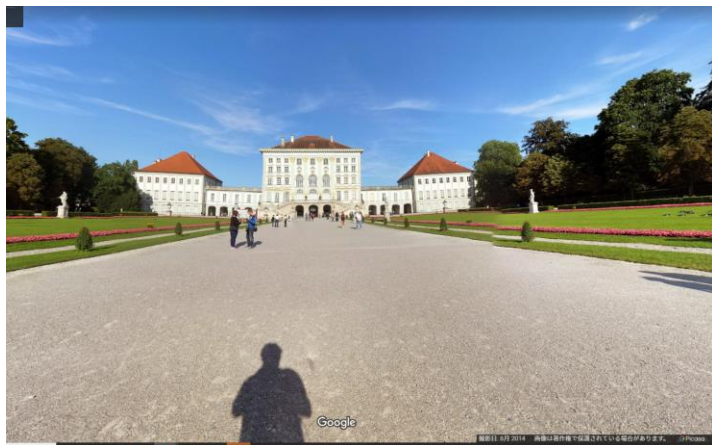
[Brady Taylor - Google マップ](#)

[Antiquarium - Google マップ](#)

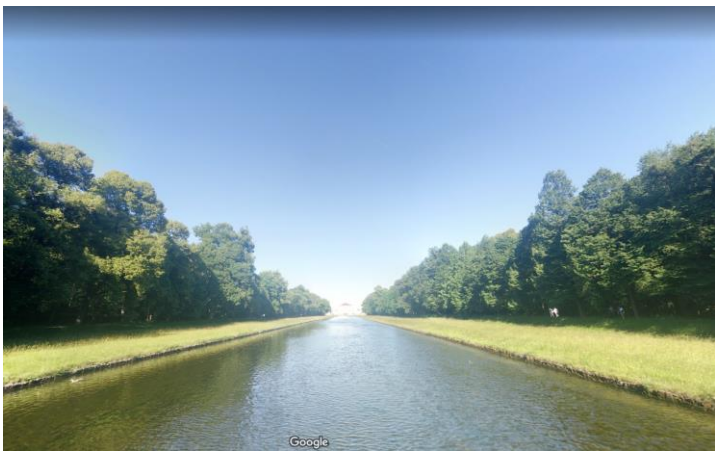


フレスコ画が壁
と天井一面に広
がったアンティ
クヴァリウム
（考古館）は欠
かせません！

[Pedro Jesus Pacheco Martin - Google マップ](#)

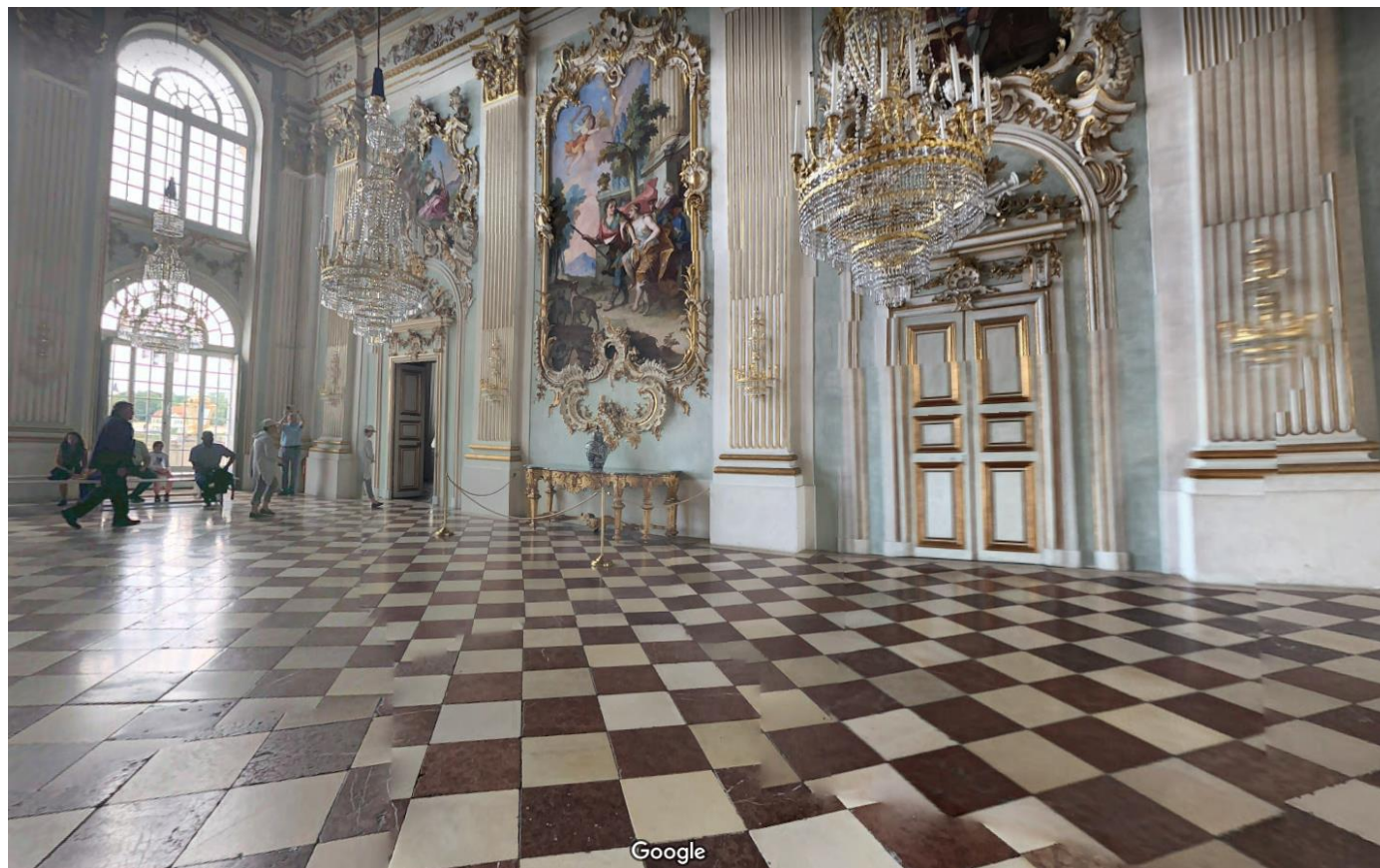


[シュロスパーク・ニンフェンブルク - Google マップ](#)

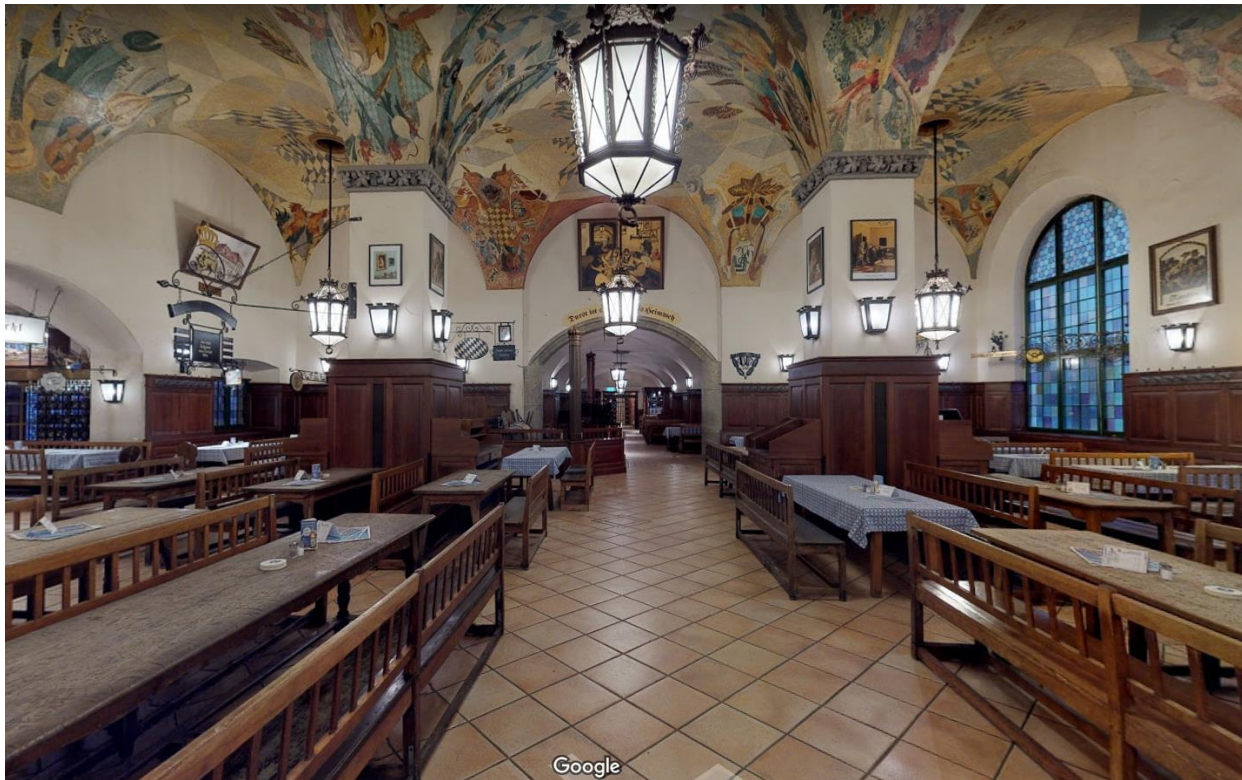


ニンフェンベルグ城

[ニンフェンブルク城 - Google マップ](#)



[ホフブロイハウス - Google マップ](#)



16世紀から続く3階建てのビアホール。バイエルン料理のレストランやショーもある、明るい雰囲気のお店。

[Museum above the Festival Hall stage - Google マップ](#)



マイナウ島

- 風光明媚な南ドイツの景勝地 マイナウ島は、ボーデン湖に浮かぶ、温暖な気候に包まれ、色鮮やかな美しい花々が咲き誇る面積**45**ヘクタールの小島だ。
- ドイツ・オーストリア・スイスの国境にあるのがボーデン湖。「マイナウ島」は、別名「花の島」と呼ばれるほど美しい花々で埋め尽くされている。
- 年間**100**万人が訪れる人気スポットで、花を愛した島の所有者ベルナドッテ伯爵が、花と樹木のパラダイス、にしようと数十年にわたり造園を進めた。

[ドイツ3 \(人気急上昇"マイナウ島"をご紹介!\) | たびこふれ \(tabicoffret.com\)](#)

マイナウ島の全景





年間100万人が訪れる、ボーデン湖に浮かぶ「花の島」として知られるのがマイнау島。中世から長らくドイツ騎士団の所有となっていました。19世紀にバーデン公フリードリヒ1世がこの島を購入し、**熱帯植物の島へと変身**させました。

ドイツにありながら、**バナナやサボテン**といった**熱帯植物**のほか、春はクロッカスやチューリップ、夏から秋にかけてはダリアやバラが咲き乱れ、秋には紅葉と、季節に応じて異なる楽園のような風景が楽しめます。

メーアスブルク



ボーデン湖に面した斜面に張り付くようにして、カラフルな建物が並ぶロマンティックな町がメーアスブルクです。

ドイツのボーデン湖畔の町のなかでもひととき可愛らしい町並みで知られ、「絵本から抜け出したかのように」と称されることもあるほど。小さな町ながら見どころの多いメーアスブルクのシンボリック的存在が、旧城です。

その歴史は7世紀にまでさかのぼることができ、現在も人が暮らす城としてはドイツ最古。

居住エリア以外は博物館として公開されていて、中世の騎士物語を彷彿とさせるロマンあふれる空間を見学できます。

[バンベルク 観光 - ユネスコも認めたドイツで一番美しい街 | Pfadfinder24](#)





バンベルク 旧市庁舎

バンベルクの観光名所として最も有名なのは、レグニッツ河の橋の上に建つ旧市庁舎。

伝説では司教様は市役所を建てる土地を市民に売ることを拒否したため、市民はベニスのように河に杭を打ち込んで人工の中州を創設。市役所をその上に建てたそうです。



小さなベニス

レグニッツ河畔のもうひとつの見所は、河沿いに並ぶ綺麗な家屋群。

かつてはまず貸しかった漁師の家が、今やバンベルクを代表する観光名所になっている。どの建物もその作りが異なっており、中世のマイスマスターのその想像力には脱帽。

日本や中国だったら間違いなく、そっくりな家屋が並んでいます。

街の観光局はこの綺麗な家屋の並びを、

「小さなベニス」

と呼んで、観光の目玉にしている。この名前を利用してイタリアからゴンドラを取り寄せて、乗客を乗せた河下りを始めた人もいるが、河の流れは速いので、ゴンドラには向いてない。



王様通り / Königsstrasse

街で一番有名な通りは、「王様通り」と呼ばれる、「Königsstrasse」だ。ここにはレストランが軒を連ねている。

「駐車禁止だけど止めちゃえ！」なんて車を違法駐車すると、あっという間に違反切符を切られます。切符を切る人も、わざわざ移動しなくても、「入れ食い」なので四六時中ここで待機、監視してます。車で来たらちゃんと駐車場に車を停めましょう。

今回を含めてバンベルクを訪れたのは、4回。ようやく主要な観光名所を全部見て、撮影することができました。まだ紹介できていないものも多いので、時間をみてこれから紹介していきます！